



第15回全国障害者スポーツ大会 和歌山県での開催に向けて

第15回全国障害者スポーツ大会情報 NO.3

発行日：平成23年2月18日

参加者募集！！

障害者のスポーツ振興を図り、障害者に対する社会の理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加を促進するため『第11回和歌山県障害者スポーツ大会』が、4日間に分けて開催されます。

平成23年度の実施日程は、

4月24日(日) フライングディスク

5月1日(日) ボウリング

5月29日(日) 陸上競技

6月5日(日) 水泳・卓球・アーチェリー

全国障害者スポーツ大会で実施される個人競技と同じ6競技が行われます。昨年の参加延べ人数は802名。

この大会は、全国大会への予選会を兼ねておりますので、まずは、『和歌山県障害者スポーツ大会』へ御参加下さい。

申し込みは、各市町村や各施設・学校等となります。詳しくは・・・

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/sports.html> をご覧下さい。

『全国障害者スポーツ大会』は、国民体育大会が開催された都道府県での開催です。

平成23年は山口県において開催されます。

マスコット：「ちよるる」 **【平成27年は和歌山県！】**



おいでませ！山口大会
君の一生けんめいに会いたい

スポーツに親しむ

◆スポーツ教室

和歌山県障害者スポーツ協会では、スポーツに親しむ機会を提供しています。7月頃から随時開催されるスポーツ教室は、テニス、卓球バレー、ふうせんバレー、水泳、アーチェリー、カヌー等を実施。

現在、平成23年3月実施の2教室の参加募集中！

○野球 3月13日(日) 13:30～ 関西電力琴ノ浦球場

○テニス 3月19日(土) 10:00～ 和歌山市河南体育館

*詳しくは、和歌山県障害者スポーツ協会

TEL073-445-7314 FAX073-446-0036まで。

和歌山県出身の選手紹介

“和歌山県スポーツ顕彰”を授与された橋本市在住の中村智太郎選手を御紹介します。

平成22年12月12日～19日の8日間開催された『**広州2010アジアパラ競技大会**』。

水泳競技に出場し、男子100m平泳ぎ(SB7クラス)でアジアレコード(1分23秒97)を打ち立て、**金メダルを獲得!**

生まれつき両上肢欠損という障害のある中村選手は、5才から水泳をはじめ、中学校3年間水泳部に在籍。高校生の時、ジャパンパラリンピック大会で優勝。その後、2004年アテネパラリンピックで銅メダル。競技の場を世界へと広げ、次の目標は、2012年ロンドンパラリンピック!と頑張られています。HPでも知事への金メダル獲得報告の様子を紹介

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/sports/shinkou/nakamurasensyu.html>

*「スポーツ顕彰」＝国際的なスポーツ大会に出場し、特に優秀な成績を挙げ、スポーツ顕彰に値すると認められるものに対して授与されます。

開催に向けた準備状況

平成22年8月31日(火)に『第15回全国障害者スポーツ大会和歌山県準備委員会』を設置したところです。平成23年3月下旬には第2回準備委員会を開催予定。終了後、随時「和歌山県情報館・障害者スポーツ」ホームページにて報告していきたいと考えております。



『陸上競技(スラローム)』競技とは...

障害者スポーツ独自競技で、車椅子使用者が参加する種目。全長30mのコースに置かれた12の旗門を、白の旗門は前進、赤の旗門は後進で通過させ、速さを競います。

旗門を倒した場合は、1本につき所要時間に5秒を加算。

選手と車椅子は一心同体。車椅子を自在に操り、旗門の間をスルスルとすり抜ける競技です。

